



しらさぎ No. 3

足立区立谷中中学校 発行日：令和6年5月10日

教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・豊かな心をもつ生徒
- ・たくましく生きる生徒

「いくよ!」「せーの!」「いち!に!さん!!」校庭や体育館に元気な掛け声が響きます。18日の体育祭に向けて、どの学年も一致団結。力を合わせて一生懸命に練習しています。「豪華絢爛 輝けそれぞれの華」というキャッチフレーズのように、それぞれが役割を果たしつつ、個性を発揮し、谷中中体育祭という大輪の花を咲かせて欲しいです。さて、先日の全校朝礼でこんな話をしました。

全校朝礼のお話

先週の身体測定でのひとコマです。廊下に座って計測の順番を静かに待っているクラスがありました。先生が通りかかると、先頭の生徒が私に気付き、頭を下げて小さな声で「こんにちは」と言いました。するとその小さな挨拶が次から次へと最後の一人まで続いていくのです。本当に感激しました。周りの状況を考え、それでも伝えなかった「あいさつ」。「み・そ・あ・じ・言」の真髓を感じた瞬間でした。

今日は、皆さんと同様に、いやそれ以上に頑張っている先生方を紹介します。

足立区には、先生方がよりよい授業づくりなどに向けて研究する「足立区中学校教育研究会」（以下、区中研）という組織があります。区内の全中学校の先生方が集まり今年度の方向性を決める「総会」が、ギャラクシティで行われます。そこで昨年度の成果を発表するのですが、その代表として体育部の部長を務める**第1学年主任の西村先生**が行うことになりました。足立区の中学校の先生方はおよそ2000人、その前で発表すること、本当に荣誉だと思います。どうしたらより分かりやすい発表になるか、最後まで試行錯誤されていました。当日が楽しみです。

もう一人、**第3学年の杉山先生**も紹介します。足立区では、先生方の授業力向上のために、教科指導に関する研修会を行っています。その国語科研修の「事例報告者」に杉山先生が選ばれました。杉山先生は教員となって3年目ですが、昨年度も区中件で研究授業をされていて、国語科指導の研究に熱心な先生です。その姿勢が足立区に認められての推薦です。授業の様子を一部撮影することになると思いますが、その時は皆さんもご協力をお願いします。

このように、谷中中の先生方を足立区に発信できる機会を得られたこと、本当に嬉しく誇りに思います。今回は2人の先生方を紹介しましたが、昨年度は数学教育推進委員として授業を公開した**第2学年の鈴木浩二先生**、谷中中で取り組んでいる「SWPBS」に関する大学教授の研究に協力した**第3学年の畑野先生**、また、それ以上に「縁の下の力持ち」として日々全力で学校を支えてくださる**全ての先生方**。みんな生徒思いで素晴らしい先生方です。生徒の皆さんにとって、先生方は一番身近な社会人であり、模範とすべき「ロールモデル」です。先生方の身なり、学習環境づくり、あいさつ、時間の扱い方、そして言葉遣いなども、ぜひ模範としてください。そして、互いにさらに高め合っていけることを期待しています。

ひ・と・こ・と

体育祭の練習が熱を帯びてきました。保護者の皆様には**体育着の洗濯、当日のお弁当づくり**など、お手数をおかけします。また、近隣にお住まいの皆様には**子どもたちの声援やマイクの音量**など、ご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。スタート合図のピストル使用は当日のみにするなど、**最大限の工夫**をしておりますので、**ご容赦いただきたく**お願いします。

体育祭当日は、一人でも多くの方に谷中中生の頑張りをご覧いただきたいと思えます。ぜひ声を掛け合ってご来校いただけたら幸いです。
(谷中中学校長 三輪政継)

学校日記など、谷中中ホームページ更新中！ぜひ一度ご覧ください！！

